



17 団体中
8 団体の

ありがとう メッセージ

助成団体から
地域のみなさまへ



特集 | 赤い羽根がつなぐ ささえあいの輪

上の写真は、これまで赤い羽根共同募金の助成を受けて行った活動の写真です。赤い羽根がたくさんの活動につながりました。

とちおでの/ 赤い羽根の使い道

- 高齢者の孤立を防ぎ、安心して暮らせる助けあい活動のために
(簡単な家事援助、配食・ふれあい昼食会、見守り活動、無償通院送迎サービス、除雪ボランティア活動など)
- 障害者の地域交流や、障害理解のきっかけづくりのために
(障害者交流会、障害者ふれあい交流会、地域福祉講演会、障害者団体への助成など)
- 親子の交流や、子どもに福祉を知ってもらうきっかけづくりのために
(配食ボランティア体験、親子のふれあい交流会、社会福祉協力校への助成など)
- 福祉を伝えるきっかけづくりや、とちおの地域福祉の充実のために
(ボランティア文化祭、地域の茶の間交流会、広報誌発行、各種ボランティア団体等への助成など)
- 栃尾に災害が起きた時の復旧、復興活動に



※今年度、新型コロナウイルスにより、一部中止となっている活動も含まれています。

赤い羽根共同募金は、地域の福祉や県内外の災害支援等に使われるお金です。

今年も10月1日から12月31日までの間、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が行われています。

地域で、職場で、街頭で寄せられた募金は地域の福祉施設や団体等を通して、地元の「ふだんのくらしのしあわせ」に役立てられています。

栃尾では昨年度480万1220円の募金が集まりました。

福祉ニーズが高まり、福祉課題も多様化する中で、赤い羽根共同募金を通して、皆さんの思いが栃尾で暮らす誰かの笑顔につながっています。

今年も栃尾の「今・未来を支える赤い羽根共同募金」にご理解とご協力をお願いいたします。